

### 歳出予算事業概要書

款	06 農林水産業費	前年度 当初予算	前年度 現計予算	各課 要求額	調整結果額	うち復活額	一般財源	所属課コード	2501000000					
項	01 農業費							所属課名	農林課					
目	03 農業振興費	18,669	16,408	9,417	9,417	0	0	内線番号						
大事業	080 就農基盤整備事業							実施 計 画	部	活力みなぎる米子	実施計画計上額			
中事業	00	財源内訳	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		章	『産業』がいきいき				
小事業	00								節	地域の活力を生み出す産業のまちづ		0		
細事業	0		0	6,277	0	0	3,140		細節	活力ある農業・農村づくり				
1. 事業の概要と必要性					節			本年度の財源内訳						
事業の概要 将来、効率的かつ安定的な農業経営の担い手となるのに相応しい青年等の就農を促進し自立を支援するため、新規就農者（認定就農者）の就農初期に係る機械・施設を整備する費用を助成し負担の軽減を図る。 必要性 農業の担い手不足・後継者不足は、市及び全国的にも深刻な問題であり、担い手の確保、新規就農者に対する官民一体による指導・情報提供・経営指導を含めた総合的な支援体制を図る必要がある。					区分		金額	財源	款	項	目	節	細節	金額
2. 根拠法令 青年等の就農促進のための資金の貸付け等に関する特別措置法、県就農基盤整備事業要綱					19	負担金補助及び交付	9,417	都道	16	02	04	01	051	6,277
3. 用地の状況														
4. 基本計画との関連														
5. 本年度の計画効果														
事業計画 平成19年度中に就農認定委員会・営農検討会を開催し、栽培作物選定及び農業労働力の効率化等を関係者（県農業振興課・農業改良普及所、市農業委員会、鳥取西部農協）と協議し平成20年度の事業計画を策定する。 事業の効果 就農計画の認定を受けようとする青年等は現在、農業研修を経て就農開始を平成20年度の早期と設定し準備を進めている。栽培作物は、ネギを主とした野菜をはじめ水稲等を予定している。本事業は平成19年度が最終年度とされていたが、各方面からの強い要望があったため、県は事業名・内容等を変更して補助を継続することとしている。 本市としても、新規就農者が就農初期に必要な機械・施設の整備を行うことに対して補助金を交付することにより補助事業者の経営の安定を図る。					6. 財源の説明 財源内訳 県補助金（就農基盤整備事業費補助金） 総事業費 18,834,000円 補助金額 6,277,000円 他市の状況 新規就農者（認定就農者）の補助事業として各市が実施している。									
目的別 性質別														